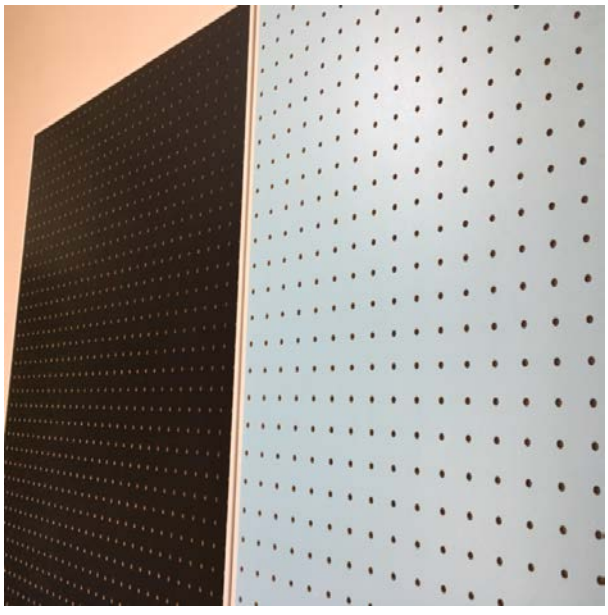
吸音パネルの設置方法とバージョンアップ

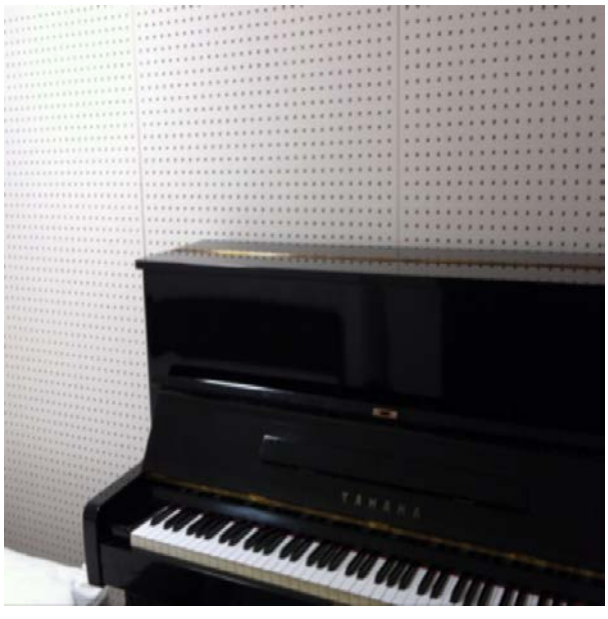
1. 吸音パネルの設置



吸音パネルの設置とバージョンアップ(効果を上げる)の説明書となります。

ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

2. アップライトピアノの場合



アップライトピアノで使用する場合は、壁とピアノの間に設置します。
必要なら金具を使いパネルを固定してください。

3. 金具を使ってパネルを固定する場合

パネルの左右側面と上部はどこでもビス留めができるようになっております。

ご自宅の壁の下地部分を探し、付属のフェルトを使って高さを合わせてビス留めします。
ビスの長さは、パネル側は25〜28ミリ、壁側はご自宅の状況に合わせてください。

壁下地を探す場合は、下地探しを使うか、足長の画鋲を使って探してください。

作成者:篠木真

4. ビス留めをしない場合

ビス留めできない場合や、移動して使う場合は、簡単に倒れないように角度をつけて設置してください。

5. ビス留めしない場合の保管

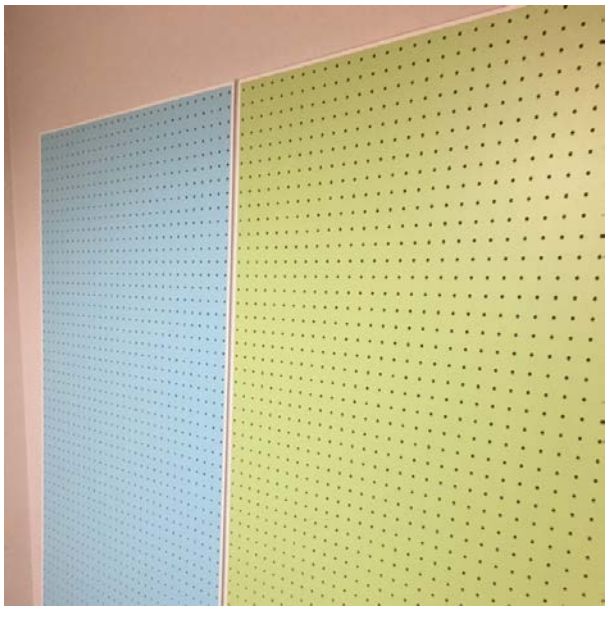
パネルは10kg以上の重さがあるので、外出など、使用しない時は横向きにして保管することをお勧めします。

フローリングに直接置く場合は、敷物など使って傷がつかないように保護してください。

6. お手入れ方法と注意点

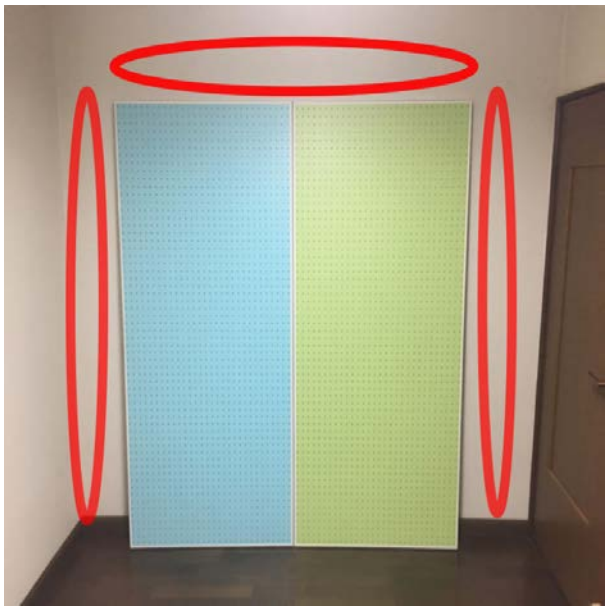
■お手入れ方法
◉表面、側面は、水で濡らした雑巾を固く絞って拭くだけにしてください。
◉裏面は埃はたきなどで埃を払ってください。

■注意点
◉設置、保管はご自身の責任でお願いいたします。
◉パネルを固定せずに使用する場合は、簡単に倒れないように、角度をつけて設置してください。
◉使用しない時の保管は、横向きにするなどして倒れにくいようにしてください。横向きの保管は、床に傷などがつかないように、生地などを敷くなどの対策をしてください。
◉小さなお子様がおられる方は、十分注意して使用、保管をしてください。
◉水などで濡れた場合はきれいに拭き取り、日陰で自然乾燥してください。
◉お手入れ時に洗剤や粘着ローラーを使用しないでください。(変色、剥がれの原因になります)



7. 吸音パネルを使った防音壁

吸音パネルを壁に並べて置き、余白部分に吸音材を貼ることで、吸音メインの防音壁になり、効果も更に上がります。



8. 裏面に遮音マットを貼る

防音効果を上げたい場合には、裏面の制振フェルトを外し、遮音マットを貼ることもできます。

9. 裏面に遮音マットを貼る

別売りの吸音パネル用遮音マットを使います。両面テープ付きですが、重たいため木工用ボンドが必要になります。

10. 裏面に遮音マットを貼る

最初にドライバーで、裏面の制振フェルトを外します。

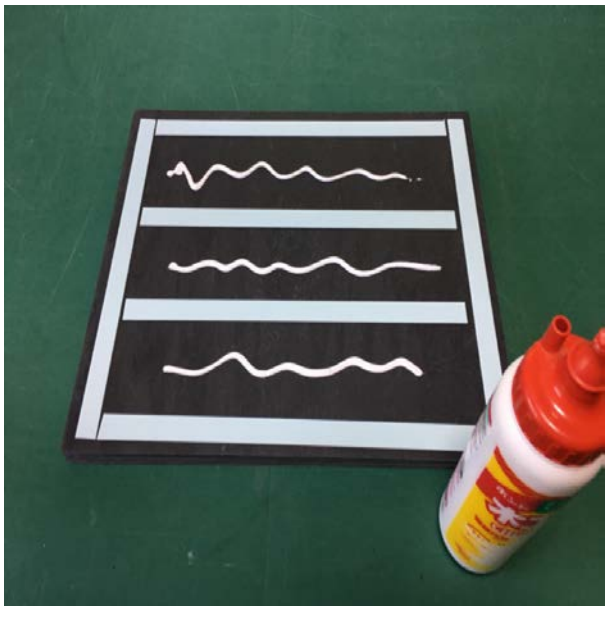
11. 裏面に遮音マットを貼る

フェルトを外すと、合板に縦、横の線があるので、それに合わせて遮音マットを貼ります。

12. 裏面に遮音マットを貼る

遮音マットに木工用ボンドを付け、両面テープの剥離紙を取ります。

遮音マットは重たいため、両面テープだけでは時間が経つと落ちることがあるのでボンドを使ってください。



13. 裏面に遮音マットを貼る

パネル上側から線に合わせて貼っていきます。

2枚目からはボンドをつける前に仮置きして合わせるようにすると、繋ぎ目の隙間の様子も分かります。

隙間が少し開く場合は遮音マットをカッターナイフでカットして調整してください。

カットする際は厚みのある定規を使い、3〜5回切れ目をなぞってカットします。
力を入れて1度でカットしないようにしてください。
カッティングマットがなければ、付属の合板を下に敷いてカットしてください。

14. 裏面に遮音マットを貼る

下まで貼り終えたら、アクリル機密テープを繋ぎ目に貼ります。

機密テープがなければ、ガムテープなどでもよいので貼ってください。

15. 裏面に遮音マットを貼る

制振フェルトを元に戻して完了です。

遮音マットを貼ると、パネル自体がかなり重たくなりますので、十分に気を付けて使用し、管理してください。